

白井大師 番外 名内・野中大師

- 1 名称 (No.034)〔昭63：名内・大師様〕〔平08：名内東光院・野中大師〕〔平17：大師〕
- 2 場所 印西市名内428付近 歩道上
中島アルミ(株)白井物流センターの東側の歩道上、
(株)竹森工業白井工場の西側。
名内・東光院から道程約950m、
栗島神社から道程約730m
GPS座標 35.82228601832673, 140.0601336860126
- 3 由緒 石碑の裏の碑文には「慶應元丑年」、「東光院」とあるので慶応元年(1865年)の造立らしい。
- 4 御堂 石柱内蔵型の浮彫りの御大師様が1体あり。
- 5 境内 歩道の一角に石造物が2つあるのみ。
- 6 写真 (2023.11撮影)



石柱内蔵型の御大師様



御大師様



「名内通り」の標識と御大師様



御大師様



中島アルミ(株)



(株)竹森工業

7 情報

(1) 野中大師

2022年11月に折立・山口大師を訪問した際に写真を撮らせていただいた「白井組合大師札所寺院部落(白井谷清大師寺院札所二十六か所)」(小名内・梶原家古書の写)に、東光院の下に「野中大師」の名称がある。名内には、白井大師第2番・東葛印旛大師第66番の東光院とは別に、番外札所として「野中大師」があることを示しているように見える。

白井組合大師札所寺院部落

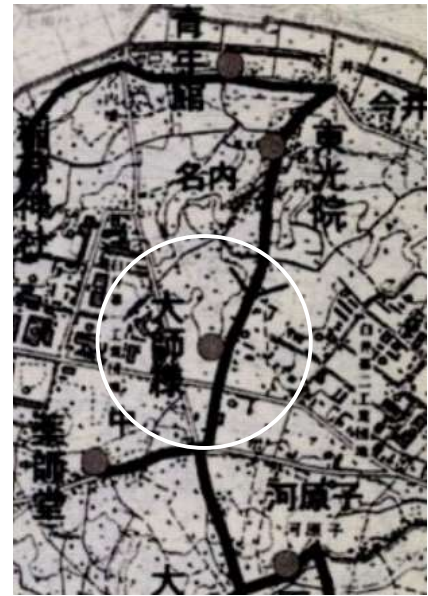
札番	大廻札番	御本尊	部落	寺院	
第二番	東 六十六番	観世音菩薩	名内	東光院	野中大師

※白井大師「第二番」、「東」葛印旛大師第「六十六番」

(2) 白井大師の札所

1988年（昭和63年）頃の白井大師巡拝順路図（白井市教育委員会「白井市の民俗Ⅰ」2003年）によると、名内・東光院から河原子に至る途中に、右図の白○のとおり「大師様」とある。

また、(2005年)「平成17年白井大師の記録」（白井市教育委員会「白井市の民俗Ⅱ」2006年発行）にも、下図の白○のとおり「大師」とある。どちらも、現在、中島アルミ(株)、(株)竹森工業があるあたりで、ここが「野中大師」のあった場所と考えられる。



(3) 大師塔（道標）

「白井市の道標（明治以前）」（白井市発行）によると、右の表と写真のとおり、竹森工業

暫定番号	白井13
所在地	河原子364
所在地2	竹森工業前
種類1	大師塔
種類2	文字南無大師
年号	慶応元年
西暦	1865
内容	南無大師遍照金剛／此方<砂久保富塚／金ヶ作松戸>／此方<河原子白井／鎌ヶ谷船橋>／慶応元乙丑八月二十一日／大師講中(人名多)
白井町番号	4-176-1
金田番号	45
緯度	354919.933
経度	1400336.047



前の慶応元年（1865年）建立の大師塔が紹介されている。古くから大師講があったことがわかるが、明治初期の迅速測図を見ると名内の集落からかなり南に下ったところで人家の印もないところである。人が住んでいたわけではないが、名内から見て富塚方面と河原子方面へ行くときの分岐点なので、道標を兼ねて供養塔を建立したものだろうか。